



2026年6月15日

各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)

代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔

問合せ先: 管理本部長兼財務経理部長 清水 幸雄

(TEL: 03-6261-9511)

当社連結子会社による催事ジャパン株式会社の株式取得及び連結子会社化に関するお知らせ

当社及び当社連結子会社であるミライサービスホールディングス株式会社（以下「MSH」）は、本日開催の取締役会において、MSHが和菓子催事事業の総合運営会社である催事ジャパン株式会社（以下「催事ジャパン」）の株式を取得（以下「本株式取得」）し、連結子会社化することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 本株式取得及び連結子会社化の理由について

今般子会社化する催事ジャパンが手掛ける和菓子催事（百貨店・商業施設・駅ナカ等の特設スペースにおいて期間限定で行われる和菓子の販売イベント）は、固定店舗を持たずに高い坪効率を実現できる流通モデルです。

一方で、職人技術・サプライチェーンマネジメント・販売員教育・出店ルート確保といった専門ノウハウを単独で揃えられる事業者は限られ、参入障壁の高さと担い手不足が長年の課題となっています。

近年では、長年の実績を有しながらも経営難・後継者不在から事業継続を断念せざるを得ない和菓子事業者が増加しており、業界としての事業承継問題が顕在化しています。

催事ジャパンの100%親会社であるデアベルス・インベストメント合同会社（以下「デアベルス・インベストメント」）は、フランチャイズ本部の構築支援を通じて、さまざまなブランドの成長を支えてきました。その歩みの中で『催事（イベント出店・物販）』が持つ可能性に魅力を感じて和菓子事業へ参入し、ブランドとともに新たな成長フェーズを歩む取り組みとして催事ジャパンを設立。3つ



の事業領域での事業推進を計画しています。

- ① オリジナルブランド事業（自社直営） ⇒ 2026年5月より、自社による直営オリジナルブランド4ラインの稼働を開始。関東主要百貨店及び催事を軸として展開
- ② フランチャイズ事業 ⇒ 和菓子催事のフランチャイズパッケージを加盟店オーナーに提供。初期投資730万円・ロイヤリティ0%・固定店舗不要という業界でも例の少ない事業モデル設計
- ③ OEM・卸事業 ⇒ 百貨店プライベートブランド・小売チェーン・他社催事事業者向けに、和菓子の企画・製造・物流をワンストップで提供。OEM、ODM、原材料供給の3形態に柔軟対応

また、これらの3事業を単独で展開するのではなく、製造ロット・流通網・販売チャンネルが相互に強化される設計とし、参入障壁の高い和菓子催事市場における持続的な競争優位の確立を目指し、以下の3軸で持続的成長を図っています。

- ① 国内3事業の段階的全国展開 ⇒ 関東圏を起点に、3事業を段階的に全国へと拡大
- ② 和菓子事業承継 M&A の積極推進 ⇒ 後継者不在・経営継続困難となった和菓子事業者の承継・経営再建を、M&A の形で積極的に推進
- ③ 海外展開の推進 ⇒ アジア・北米を中心に、現地パートナーとの連携によるマスターフランチャイズ契約・直営出店・OEM輸出など、世界が注目する日本文化である和菓子文化を世界に届けるための海外展開を推進

当社グループは、「AI×金融」による成長支援を軸に、投資先企業の企業価値最大化を通じてグループ全体の成長を推進しています。

上記の通り、催事ジャパンが手掛ける和菓子催事事業は有望であると判断し、さらに当社グループは、

- 鰻の成瀬のフランチャイズ・チェーン ⇒ 飲食店ネットワークを通じたB2B販路の開拓
- AI・DXによる業務効率化 ⇒ 人手不足を補う業務効率化
- SNSマーケティングのノウハウ ⇒ 集客最大化
- 地方自治体及び金融機関ネットワーク ⇒ 販売チャンネルの拡大・開拓

といった強みを有しており、同社の成長のための資金支援とともに、これらの強みを活用することで、同社及び当社グループの既存事業の事業成長を加速させることが出来ると判断し、本株式取得及び連結子会社化を決議いたしました。

2. 催事ジャパンの概要

1	名 称	催事ジャパン株式会社	
2	所 在 地	東京都中央区銀座一丁目1 2 番 4 号N&E BLD. 6 F	
3	代表者の役職・氏名	代表取締役 石野優太	
4	事 業 内 容	和菓子催事業の総合運営	
5	資 本 金	100,000 円 (2026 年 5 月 31 日時点)	
6	設 立 年 月 日	2026 年 5 月 8 日	
7	大株主及び持株比率 (2026 年 5 月 31 日現在)	デアベルス・インベストメント合同会社 100%	
8	当社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
9	当該会社の最近3年間の 経営成績及び財政状態	<p>2026 年 5 月 8 日に設立され、第 1 期事業年度が終了していないため、該当情報がありません。デアベルス・インベストメント合同会社が、赤字経営により承継先が見つからずにいた和菓子事業を引き継ぎ、フランチャイズ本部支援で培った経営ノウハウを活用した抜本的な経営再建コンサルティングを実施し、事業の立て直しを完了し、新たな成長フェーズへの再始動として設立されたのが催事ジャパンです。催事ジャパンは本日時点までで売上実績はありませんが、前述の経緯より、デアベルス・インベストメント合同会社が 2025 年 11 月から 2026 年 3 月にかけて行った和菓子催事の実証済みモデルを催事ジャパンで横展開することを想定しているため、当社としては催事ジャパンの今後の事業計画に基づき投資判断を行いました。</p>	

3. 株式取得及び連結子会社化の概要

当社は、催事ジャパンの発行済普通株式 100 株（持株比率は 100%）を保有するデアベルス・インベストメント合同会社より、保有する普通株式 51 株（発行済株式総数の 51.0%）を 51,000,000 円で取得します。本株式取得により、催事ジャパンは当社の連結子会社となります。

催事ジャパンは、設立直後（2026 年 5 月 8 日に設立）の会社ですが、同社より事業計画の説明を受



け、また、取得価額につきましては、第三者であるルート株式会社による株主価値評価（2026年4月30日を基準日としたDCF法により評価、催事ジャパンにより作成された2026年12月期～2028年12月期の事業計画のうち不確実性の高い要素を除いた保守的なシナリオを採用した）を踏まえた適切な価格にて決定しております。

本件により当社グループは、成長性の高い和菓子催事事業を取り込むとともに、安定的な収益基盤の拡充を図ります。

4. 株式取得相手先の概要

1	名 称	デアベルス・インベストメント合同会社		
2	所 在 地	東京都新宿区西新宿 3-3-13 西新宿水間ビル 2 階		
3	代表者の役職・氏名	代表社員 石野優太		
4	事 業 内 容	フランチャイズ本部の本部構築支援・加盟開発支援・資金調達支援・経営コンサルティング・M&A 仲介		
5	資 本 金	200,000 円		
6	設 立 年 月 日	2024 年 7 月 1 日		
7	大株主及び持株比率 (2026年5月31日現在)	石野 優太 50%、阿部 稜馬 50% (合同会社のため「社員」及び「出資比率」として記載)		
8	当社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
9	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2025年6月期 (第1期)	-	-
	純 資 産	27 百万円	-	-
	総 資 産	41 百万円	-	-
	1 株 当 たり 純 資 産	-	-	-
	売 上 高	91 百万円	-	-
	営 業 利 益	41 百万円	-	-
	経 常 利 益	41 百万円	-	-
	当 期 純 利 益	27 百万円	-	-
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	-	-	-
	1 株 当 たり 配 当 金	-	-	-



(注) 合同会社であり、株数の概念が存在しないため、1株当たり純資産、1株当たり当期純利益は記載していません。

5. 株式取得をする子会社の概要及び事業内容

(1) 商号	ミライサービスホールディングス株式会社
(2) 所在地	東京都港区六本木1丁目9番9号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 松本高一
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none">・生活者向けサービス事業を営む子会社の経営管理・飲食事業戦略、ブランド戦略、マーケティング戦略の立案・新規サービスの企画・開発
(5) 設立時出資金	1,000万円
(6) 設立年月日	2026年1月
(7) 大株主及び持株比率	A I フュージョンキャピタルグループ株式会社 100.0%

6. 日程

- (1) 取締役会決議日：2026年6月15日
- (2) 本株式取得にかかる払込：2026年7月上旬（予定）
- (3) 本株式取得：2026年7月上旬（予定）

7. 今後の見通し

本件により、催事ジャパンは当社の連結子会社となります。本件が当社グループの業績に与える影響につきましては現在精査中ですが、当該事業の成長及びグループシナジーの発現により、中長期的には当社グループの業績拡大に寄与するものと見込んでおります。

今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上